

平成27年3月期 第2四半期決算説明資料

平成26年11月12日

【本資料に関する注意事項】

本資料は、本年10月31日に発表しました「平成27年3月期第2四半期決算短信」の決算補足説明資料として、同期間の業績動向を補足説明することを目的として作成したものです。本資料に掲載されている日本調剤株式会社及び同社子会社の業績目標、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、事業等のリスクや不確実な要因によっては、大きく変化する可能性があります。またその達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合がありますことをご承知おきください。また、本資料は投資勧誘のため作成されたものではありません。投資を行う際には、十分に投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

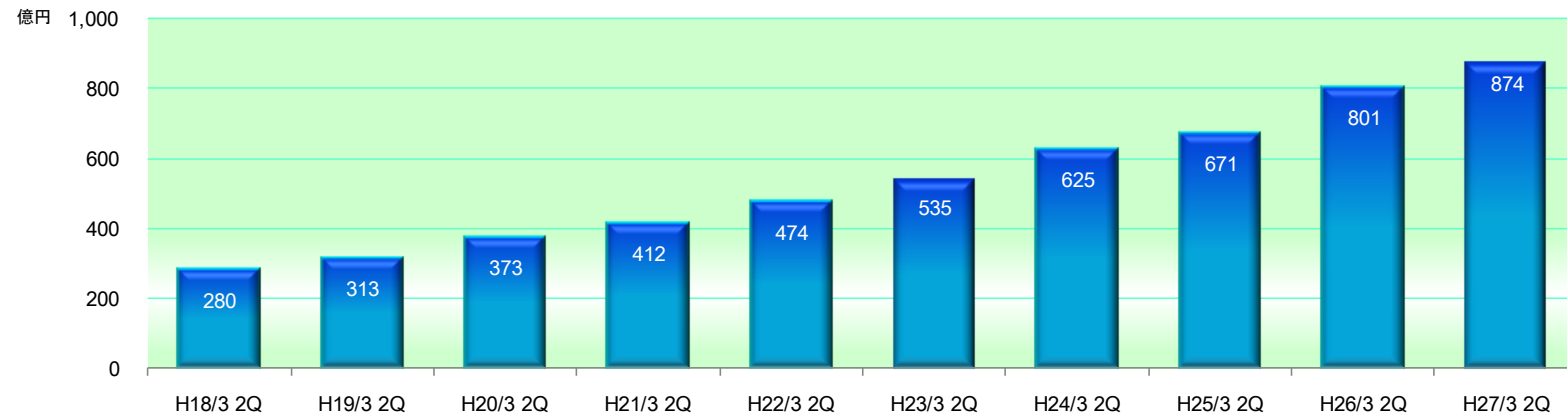


日本調剤株式会社

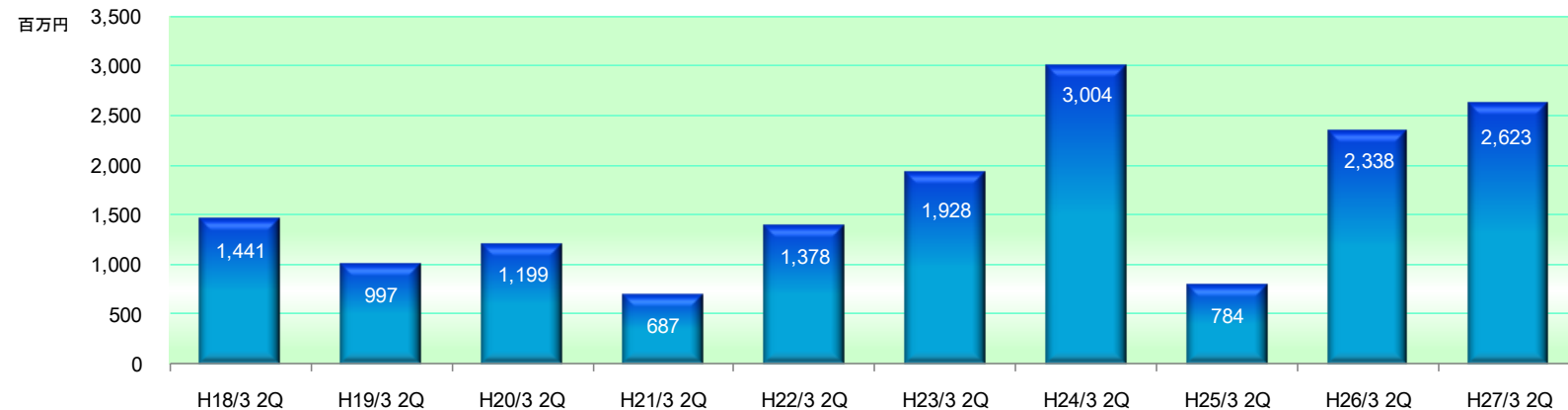
(証券コード 3341)

1.平成27年3月期 第2四半期 業績報告

第2四半期 連結売上高推移



第2四半期 連結営業利益推移



(単位:百万円)

	H24/4-H24/9	H25/4-H25/9	H26/4-H26/9	対前年同期 増減額	同 増減率
売上高	67,115	80,136	87,418	7,282	9.1%
売上原価	57,222	67,575	72,571	4,996	7.4%
売上総利益	9,893	12,560	14,846	2,285	18.2%
対売上比(%)	14.7%	15.7%	17.0%	—	—
販管費	9,108	10,222	12,223	2,000	19.6%
営業利益	784	2,338	2,623	284	12.2%
対売上比(%)	1.2%	2.9%	3.0%	—	—
経常利益	544	2,049	2,318	269	13.1%
対売上比(%)	0.8%	2.6%	2.7%	—	—
四半期純利益	180	950	1,157	207	21.8%
対売上比(%)	0.3%	1.2%	1.3%	—	—

※当社会計処理では控除対象外消費税等については販管費に計上しております。

(単位:百万円)

	H25/4-H25/9	H26/4-H26/9	構成比	対前年同期 増減額	同 増減率
調剤薬局事業	70,805	75,967	86.9%	5,162	7.3%
うち一般薬等売上	930	916	1.0%	△13	△1.5%
医薬品製造販売事業	7,403	8,985	10.3%	1,581	21.4%
医療従事者派遣・紹介事業	1,927	2,465	2.8%	538	27.9%
合計	80,136	87,418	100.0%	7,282	9.1%

(単位:百万円)

	H25/4-H25/9	H26/4-H26/9	構成比	対前年同期 増減額	同 増減率
販 管 費	10,222	12,223	14.0%	2,000	19.6%
（ 給 与 手 当 ）	1,624	1,635	1.9%	10	0.7%
（ 賃 借 料 ）	1,052	1,088	1.2%	35	3.4%
（ 消 費 税 等 ）	2,784	4,686	5.4%	1,902	68.3%
（ 研 究 開 発 費 ）	804	791	0.9%	△13	△1.6%

主な増減要因

【販管費】
・消費税等
(消費税増税分等)

※構成比は売上に対する比率

(単位:百万円)

	H26/3末	H26/9末	増減額
流動資産	53,373	61,127	7,753
固定資産	63,921	66,950	3,028
有形固定資産	42,123	45,575	3,451
無形固定資産	11,103	10,643	△459
投資その他	10,694	10,731	37
資産合計	117,295	128,077	10,782
流動負債	55,666	50,195	△5,471
固定負債	45,779	61,099	15,320
負債合計	101,446	111,294	9,848
純資産合計	15,849	16,783	934

主な増減要因

【流動資産】	
・現金及び預金	+1,685
・商品及び製品	+4,988
【固定資産】	
・建設仮勘定	+3,117
【流動負債】	
・買掛金	+4,542
・短期借入金	△3,800
・1年内償還予定の社債	△7,000
【固定負債】	
・長期借入金	+14,162
【純資産】	
・利益剰余金	+1,187

(単位:百万円)

	H25/4-H25/9	H26/4-H26/9	H25/4-H26/3
営業活動による キャッシュ・フロー	1,672	1,502	6,243
投資活動による キャッシュ・フロー	△6,848	△3,394	△14,510
財務活動による キャッシュ・フロー	7,771	3,575	8,782
現金・現金同等物の 増加額	2,595	1,682	514
現金・現金同等物の 期首残高	14,513	15,027	14,513
現金・現金同等物の 期末残高	17,108	16,710	15,027

【営業活動によるCF】

- ・税金等調整前四半期純利益 +2,289
- ・減価償却費 +1,662
- ・仕入債務の増加額 +5,089
- ・たな卸資産の増加額 △4,976
- ・法人税等の支払額 △1,434

【投資活動によるCF】

- ・有形固定資産の取得による支出 △2,930

【財務活動によるCF】

- ・長期借入れによる収入 +17,200
- ・社債の償還による支出 △7,000
- ・短期借入金の減少 △3,800
- ・長期借入金の返済による支出 △1,976

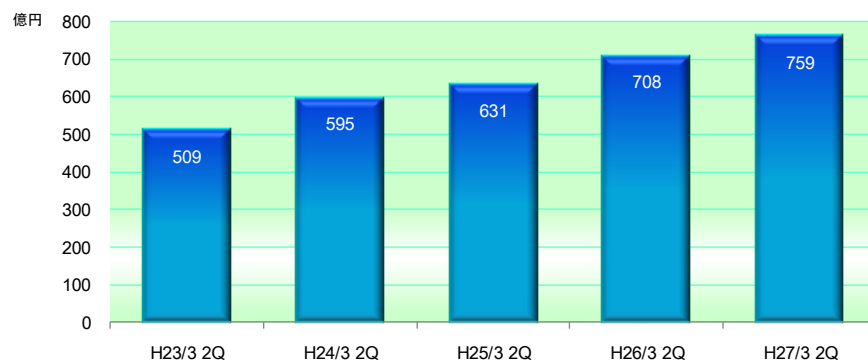
診療報酬改定による大病院での患者逆紹介、処方日数の長期化などの影響あるものの、既存店においても処方せん枚数増加。改定期のため前年同期比減益。

(単位:百万円)

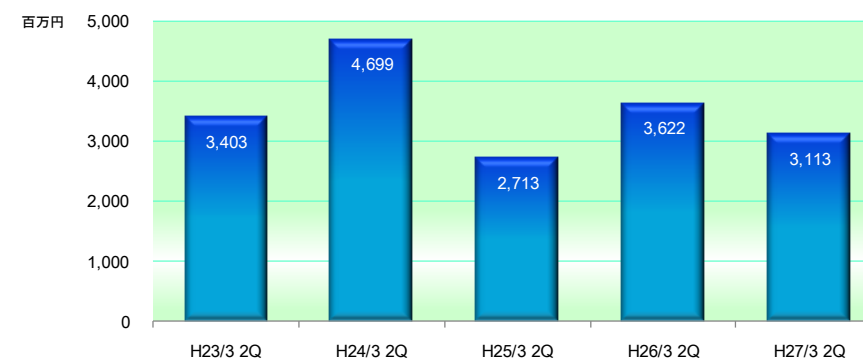
	H24/4-H24/9	H25/4-H25/9	H26/4-H26/9	対前年増減額	対前年増減率
売上高	63,127	70,805	75,970	5,165	7.3%
営業利益	2,713	3,622	3,113	△509	△14.1%
対売上比(%)	4.3%	5.1%	4.1%	—	—

(※セグメント間取引消去前)

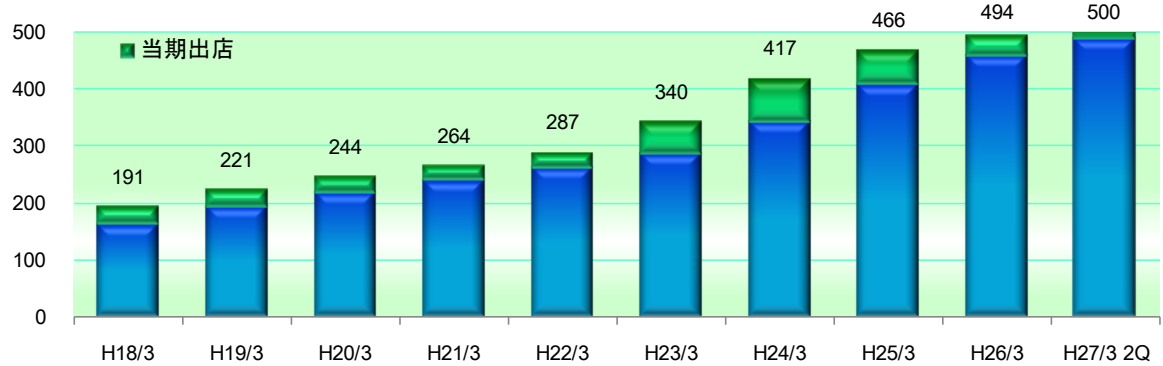
第2四半期 セグメント売上高推移



第2四半期 セグメント営業利益推移



各期末店舗数推移



H26/4-H26/9 実績	
出店数	12
閉店数	6
総店舗数(9月末)	※ 500

※物販専門の1店舗を含む

当第2四半期出店店舗

4月出店	
永山薬局	東京都多摩市
新松戸薬局	千葉県松戸市
麻溝薬局	神奈川県相模原市
中村日赤駅薬局	愛知県名古屋市

5月出店	
大曲薬局	秋田県大仙市
いりなか駅薬局	愛知県名古屋市

6月出店	
歌舞伎座タワー薬局	東京都中央区
宮益坂薬局	東京都渋谷区

7月出店	
三鷹台薬局	東京都三鷹市
こすぎ薬局	神奈川県川崎市

8月出店	
なめがた薬局	茨城県行方市
光明池薬局	大阪府和泉市

既存店は単価、枚数ともに増加。
 (単価上昇:消費税増税分、処方日数長期化等の影響)

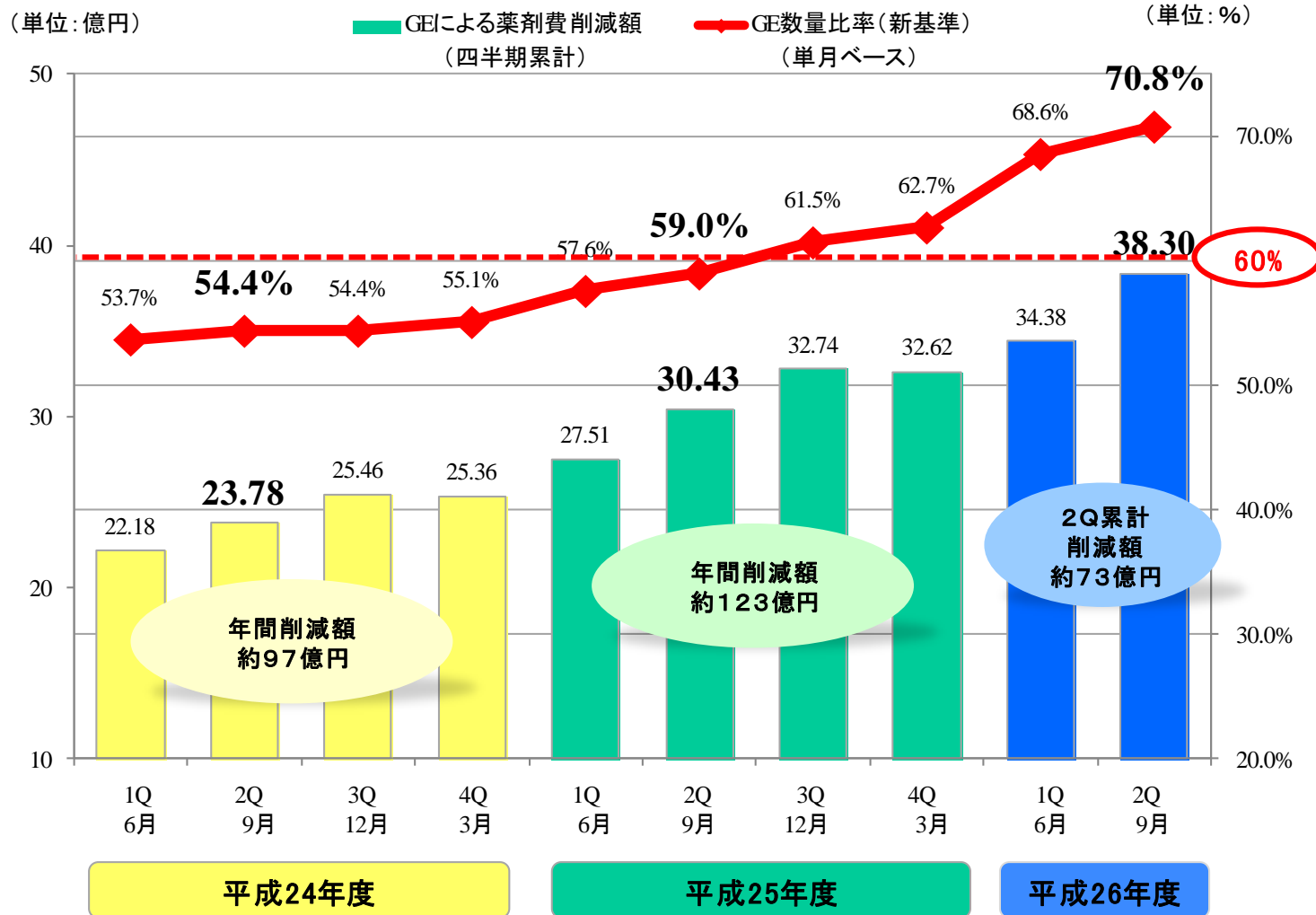
【日本調剤グループ 出店期別店舗調剤売上推移】

(単位:百万円)

	H26/9末 店舗数	H25/4-H25/9	H26/4-H26/9	増減額	増減率
既 存 店 (~H25/3)	450	68,955	71,326	2,371	3.4%
前 期 出 店 (H25/4~H26/3)	37	606	2,976	2,370	391.2%
今 期 出 店 (H26/4~H26/9)	12	—	612	612	—
そ の 他	—	161	23	△138	△85.4%
計	499	69,723	74,939	5,215	7.5%

- ・ 調剤売上のみ(OTC等含まず)、発生ベース(返戻再請求を反映せず)
- ・ 期中閉局店舗分はその他に集計しております
- ・ 店舗数には物販専門の1店舗を含んでおりません

7月以降、全社ベースで新基準数量ベース70%超え。
後発医薬品調剤体制加算の獲得が収益に貢献。



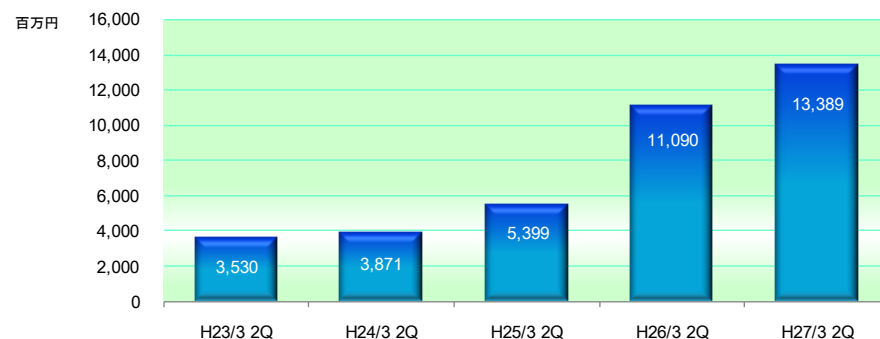
薬価改定による販売価格低下の影響あるが、
グループ会社間での連携強化等により対前年比大幅増収増益。

(単位:百万円)

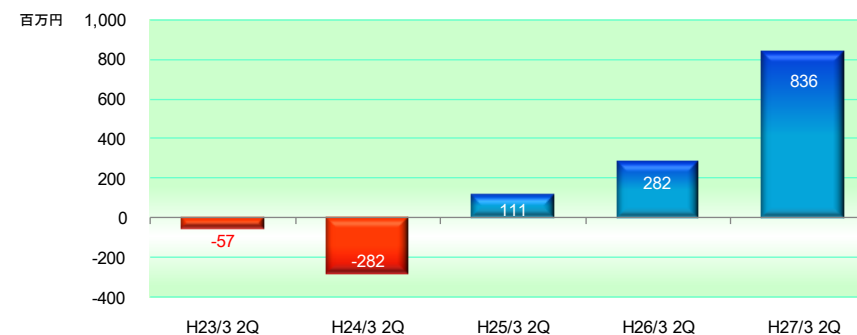
	H24/4-H24/9	H25/4-H25/9	H26/4-H26/9	対前年増減額	対前年増減率
売上高	5,399	11,090	13,389	2,299	20.7%
営業利益	111	282	836	553	195.6%
対売上比(%)	2.1%	2.6%	6.2%	—	—

(※セグメント間取引消去前)

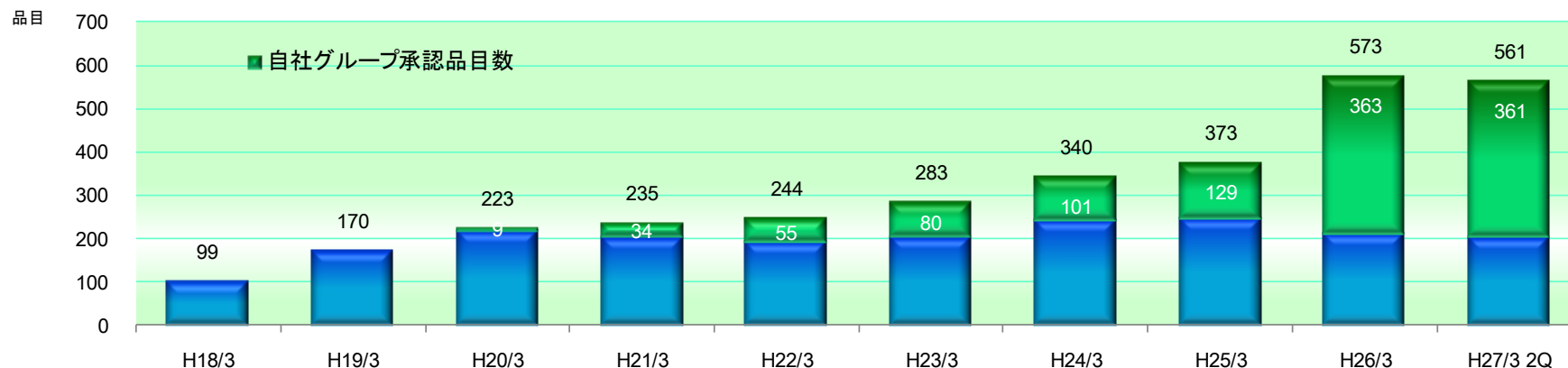
第2四半期 セグメント売上高推移



第2四半期 セグメント営業利益推移



販売品目数推移



平成26年12月 薬価基準収載予定品(11品目)

名称
カンデサルタン錠2mg「JG」
カンデサルタン錠4mg「JG」
カンデサルタン錠8mg「JG」
カンデサルタン錠12mg「JG」
レボフロキサシン錠250mg「CH」
レボフロキサシン錠500mg「CH」

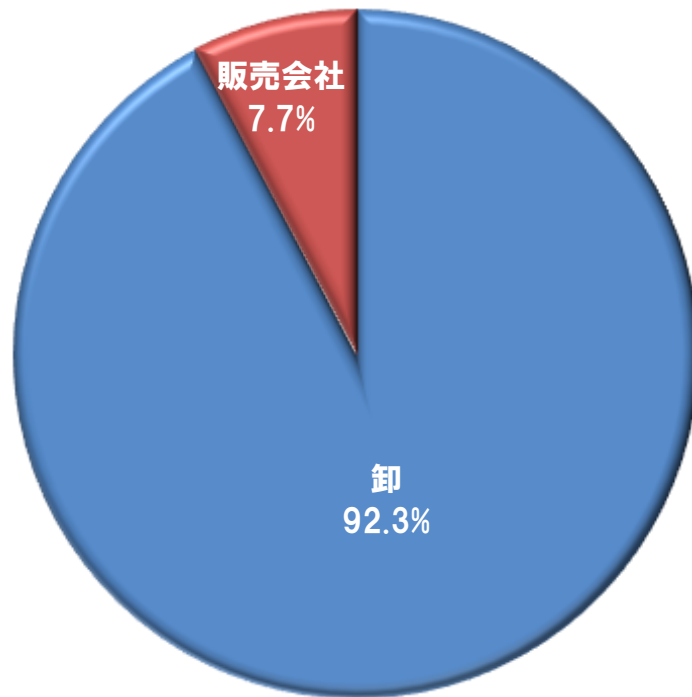
名称
エチゾラム錠0.25mg「JG」
トリクロルメチアジド錠2mg「JG」
カルベジロール錠10mg「JG」
カルベジロール錠20mg「JG」
イトプリド塩酸塩錠50mg「CH」

12月収載予定の主な新製品

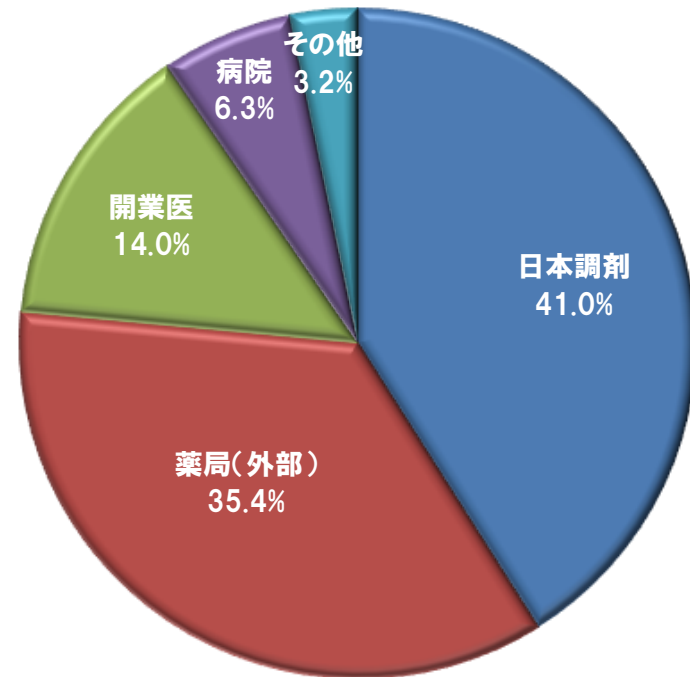


製品名	同種品	薬効分類名
カンデサルタン錠「JG」	プロプレス錠	持続性アンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤
レボフロキサシン錠「CH」	クラビット錠	広範囲経口抗菌製剤
カルベジロール錠「JG」	アーチスト錠	持続性 高血圧・狭心症治療剤

販路別比率



納入先別比率



※平成27年3月期 第2四半期累計

※薬価ベース金額による

※受託生産分は含まない

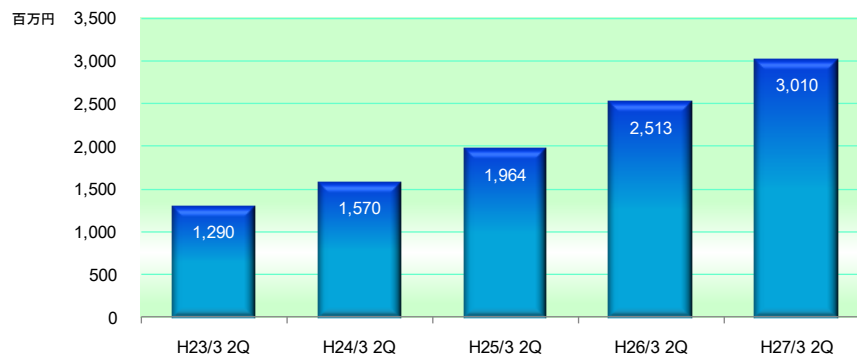
今春の薬剤師国家試験の合格率が大幅に低下、在宅等の業務量増加も相俟って薬剤師需要が高水準を継続、同事業の業績も派遣を中心に順調に進展。

(単位:百万円)

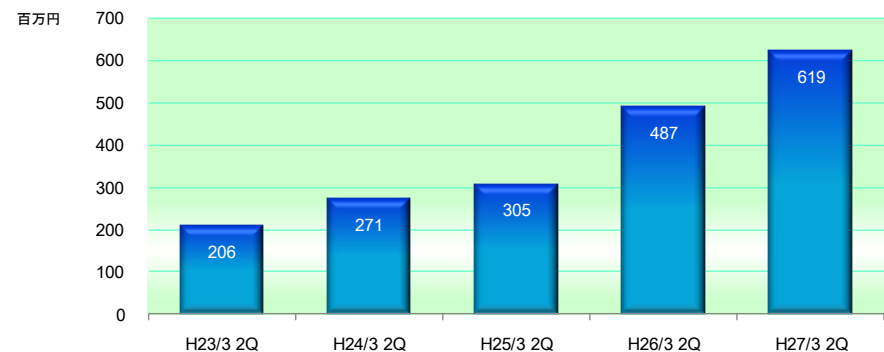
	H24/4-H24/9	H25/4-H25/9	H26/4-H26/9	対前年増減額	対前年増減率
売上高	1,964	2,513	3,010	496	19.8%
営業利益	305	487	619	132	27.2%
対売上比(%)	15.6%	19.4%	20.6%	—	—

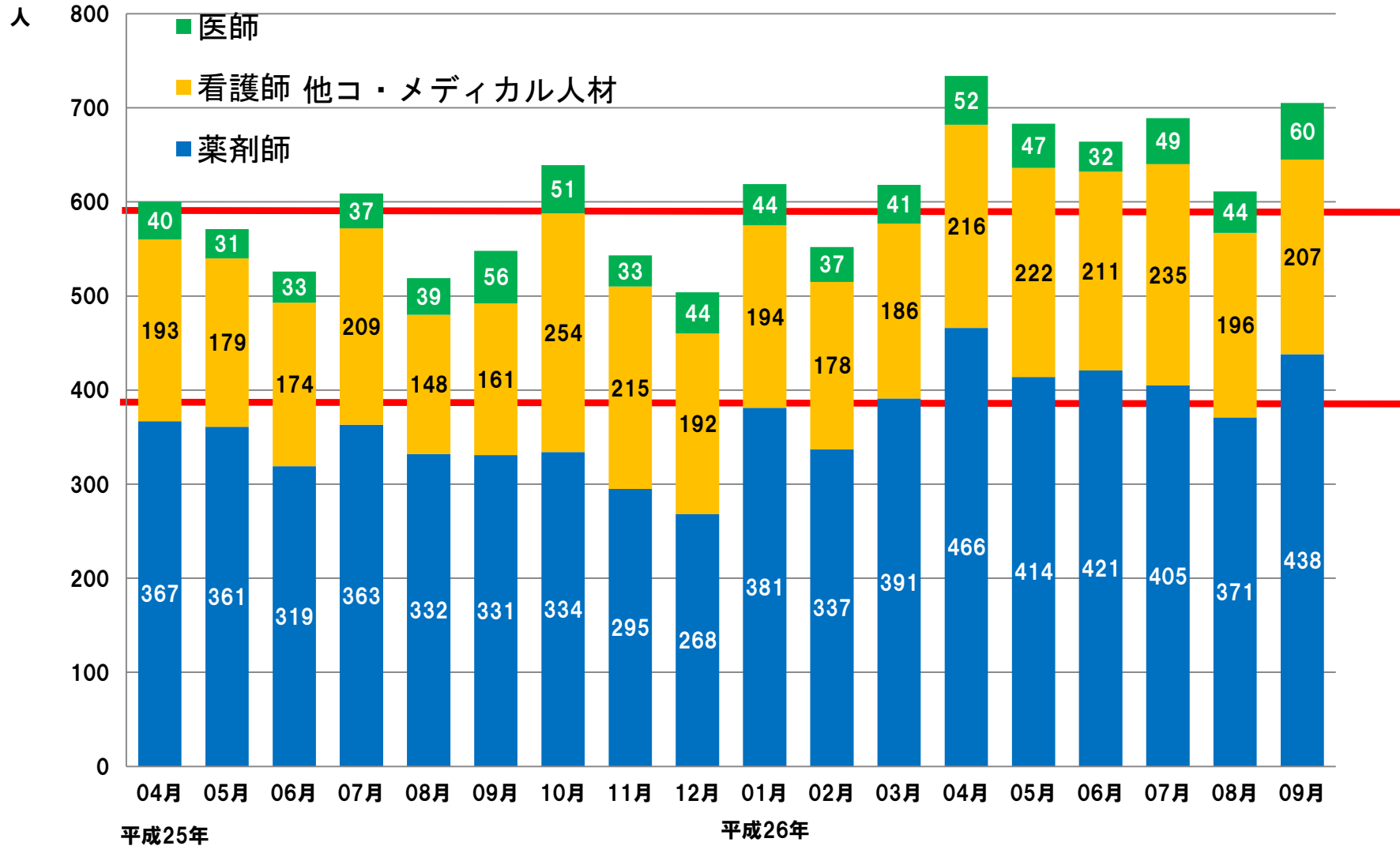
(※セグメント間取引消去前)

第2四半期 セグメント売上高推移



第2四半期 セグメント営業利益推移



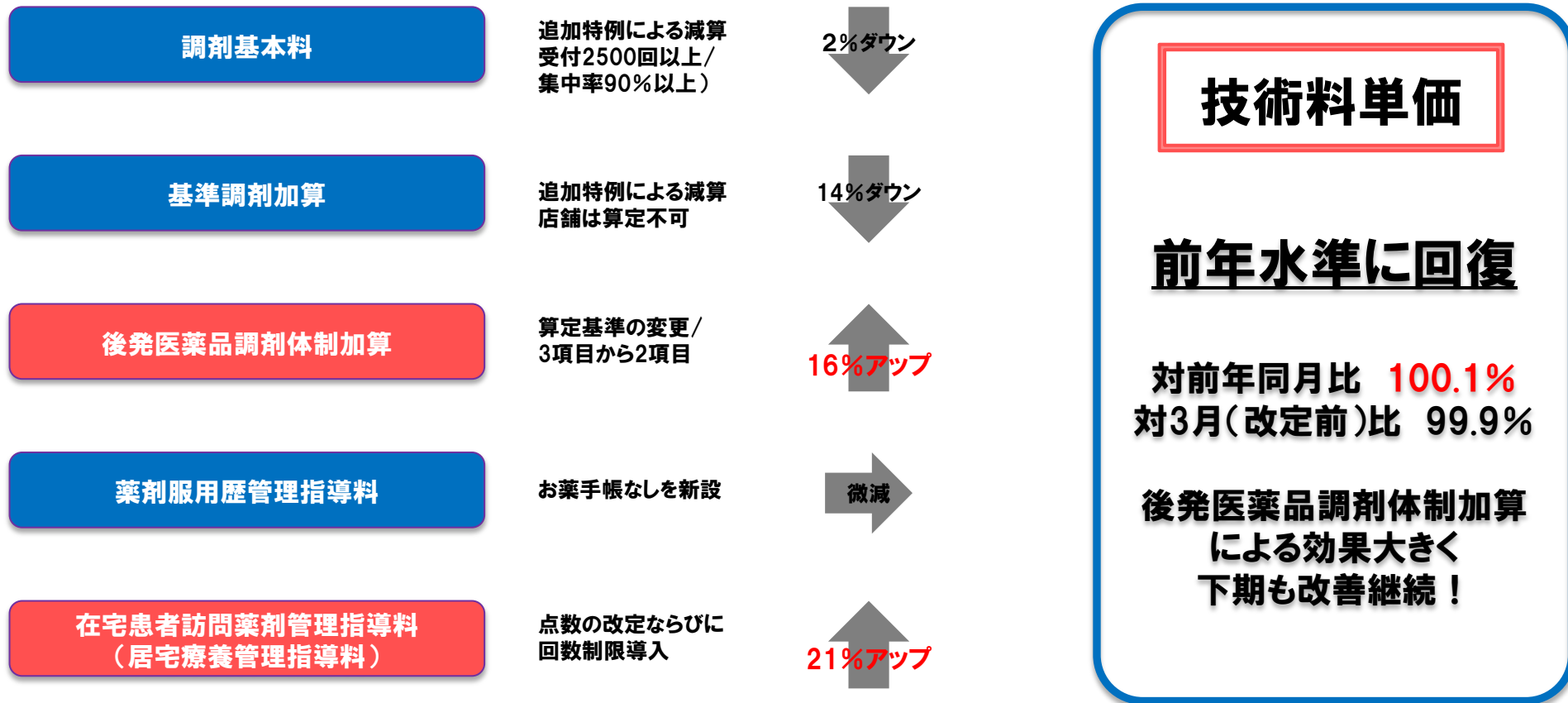


II. 日本調剤グループの事業展開

◆ 調剤報酬改定による影響と対応について

✓ 改定により変動した主な項目の状況（平成26年9月 処方せん・技術料単価ベース）

※主な改定内容

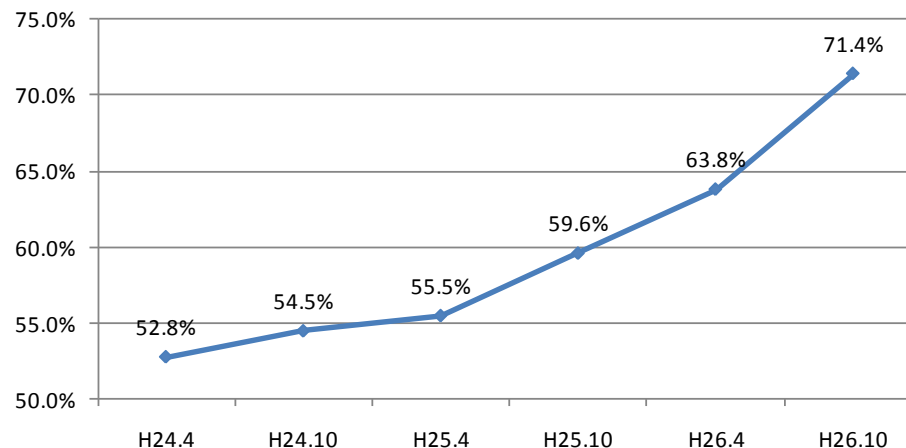


※アップ、ダウンは対前年同月比

◆ ジェネリック医薬品普及への取り組み

✓ 全社使用割合（全社平均 数量ベース）

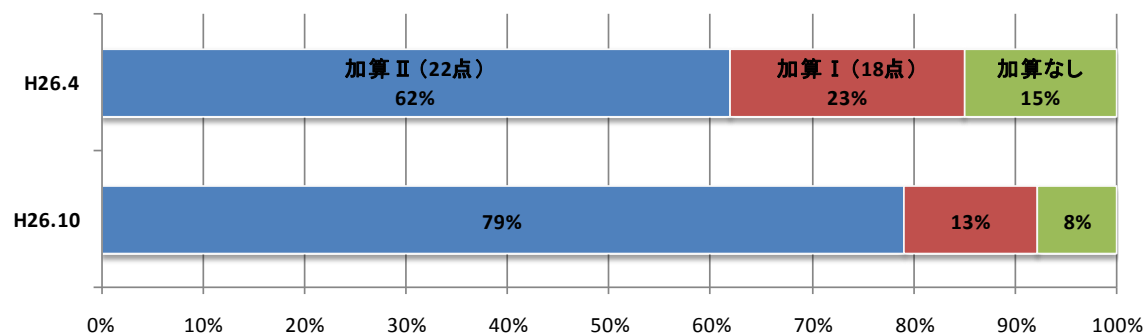
平成26年7月 70.0%到達 → 平成26年10月 71.4% →→→ 来年度中 85%到達へ



✓ 後発医薬品調剤体制加算（平成26年10月現在 店舗数ベース）

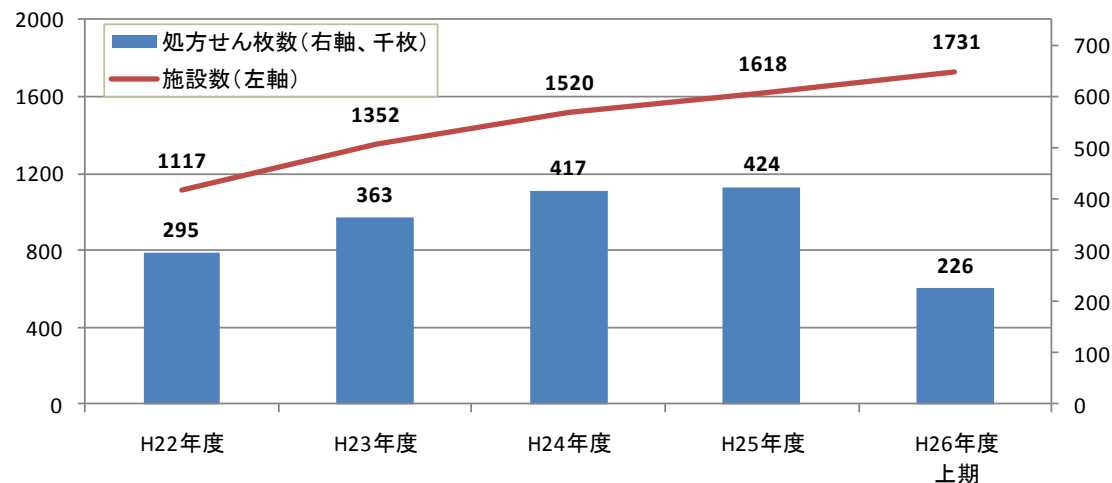
加算Ⅱ（65%以上、22点）79%、加算Ⅰ（55%以上65%未満、18点）13%

加算なし（55%未満）8%



◆ 在宅医療、高齢者施設への取り組み

- ✓ 在宅患者訪問薬剤管理指導(居宅療養管理指導含む)の実施（店舗数ベース）
平成26年9月 進捗率 35% → 全店舗での実施へ
- ✓ 高齢者施設への取り組み（平成26年度上期(4-9月)）
取引施設数 1,731件（対前年同期比111%）、応需処方せん枚数 226千枚（対前年同期比107%）



◆ 出店状況について

- ✓ 店舗数 506店舗（平成26年11月 物販専業1店舗除く）
門前型 362店舗(72%)、MC(医療モール)型 56店舗(11%)、面対応型 88店舗(17%)
- ✓ 精度の高い出店を継続、優良な店舗(企業)についてはM&Aも適宜検討

◆ 生産体制の拡充への取り組み

日本ジェネリック

つくば工場 N棟	稼働中
つくば工場 S棟(第Ⅰ期)	27年稼働予定
つくば工場 S棟(第Ⅱ期)	着工時期未定
つくば第二工場	着工時期未定
春日部工場(予定)	買収予定

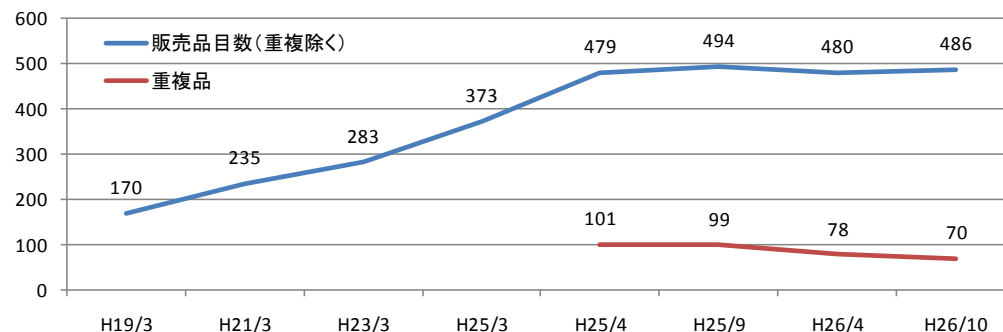
長生堂製薬

本社工場	稼働中
本社第二工場	27年稼働予定
川内工場	稼働中

- 売上増加に従い順次、生産設備の拡充、製造余力の拡大をすすめる
- 我が国における本格的なジェネリック医薬品の普及を支える

◆ 販売品目数について

日本ジェネリック（平成26年10月）
 販売品目数 486品目
 （長生堂製薬との重複品目数70を除く）



- 大手後発医薬品メーカーに匹敵する品目数に
- 追補品の販売、重複品の効率化をすすめ、幅広いニーズへの対応を可能に

◆メディカルリソース（医療従事者派遣・紹介事業）

✓ 薬剤師派遣・紹介事業

平成12年創業以来(旧:日本調剤ファルマスタッフ)、薬剤師派遣・紹介業のパイオニアとして業界トップクラスの登録者数、実績を誇る

✓ 医師・看護師・コメディカル紹介事業

医師、看護師の登録者数、紹介実績も着実に上昇
本年よりニーズの高まる作業療法士、理学療法士の紹介事業も開始

→ 総合医療人材サービス企業として、全国の医療機関、薬局等へ最適な人材を提供

✓ 施設紹介事業

有料老人ホーム、高齢者向け住宅のニーズの高まりを受け、業容拡大

◆日本医薬総合研究所（医薬コンサルティング事業）

✓ 医療情報ビッグデータサービス

処方せんデータの分析、評価による効率的なマーケティングを製薬企業などへ提案
本年よりデイリーデータ(RI PDS)の提供を開始

✓ コンサルティング

医療機関、製薬企業などへ向けた実務面を重視した各種コンサルティング業務、研修業務を実施

●IRお問い合わせ先

日本調剤株式会社 経営企画部 IR担当まで
〒100-6737 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
グラントウキョウノースタワー37F
電話: 03-6810-0800(代表)
E-Mail: ir-info@nichou.co.jp
IR専用ページ : <http://www.nichou.co.jp/ir>